

活動レポート

平成27年11月1日（日）、「琵琶湖クリーンプロジェクト～琵琶湖の大自然を体感し、琵琶湖の魅力を再発見しよう！」を京都新聞社と共催しました。

このプロジェクトは、水環境について学習し、あわせて景観保全活動も行うことを目的に、トヨタ自動車 AQUA SOCIAL FES が実施したものです。びわ湖トラストからは、熊谷理事兼事務局長、山本理事、橋本の3名が参加しました。

当日は、市民がカヌーに乗って琵琶湖へ漕ぎ出し、自然に触れながらヨシ群落に溜まったゴミの清掃活動を行うというプログラムで、場所は、オーパルオペテックス株式会社（大津市雄琴）の敷地およびその周辺水域。同社には、カヌーの貸与、操作指導、敷地内での環境学習などについてご協力いただきました。



ヨシ群落は、湖水を浄化する顕著な働きがあるほか、魚の産卵や鳥たちの住みかにもなっており、湖の生態系を守っていくうえでとても大切な役割をはたしています。ただ、琵琶湖に限ったことではありませんが、ヨシというのは、湛水域（水の流れの悪いところ）では、ほぼ例外なく衰退していきます。その湛水域を生み出す要因、つまり、ヨシの生育に必要な水流を滞



らせる大きな要因の一つが、繁茂しすぎた水草や藻類、また茎付近の湖底に堆積したり水面に浮遊する生活ゴミなどです。このため、水草などの清掃は、地味な作業ではありますがヨシ群落を保全するうえで重要な意味を持っています。

この日のプロジェクトへの参加者は、親子連れを中心に約100名。まず、グリーンウォーカーネイチャークラブ代表の青木繁さんから、ヨシ群落の大切さや水草の繁茂状況などについてレクチャーがあり、その後、琵琶湖へ出てカヌーの操り方を練習しました。そして、短い休憩をはさんで清掃作業を開始。朝の気温は約11℃と晩秋の肌寒さでしたが、さいわい晴天に恵まれ、風のない穏やかな湖面のおかげで、お子さんたちの歓声の中、安全な作業ができました。

びわ湖トラストでは、今後ともこうした活動を着実に進めていきたいと思っています。

（文責橋本）

